

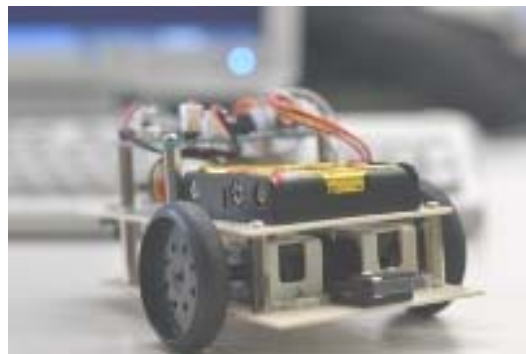
2014年11月18日

NPOによる中学校でのロボット・プログラミング授業への協力

日本電産は近隣の小学校へ赴き、モータ製作実習を含めた環境教育を2007年から継続的に実施し、子ども達にもものづくりの楽しさを実感してもらうことで理科や社会に対する関心を深めてもらっています。

また、ものづくりの楽しさを広く知ってもらうため、当社は2013年度よりNPO法人コアネットが行う中学校におけるロボット・プログラミング授業で使用する教材購入に協力しています。

11月11日に京都府立洛北高等学校附属中学にて昨年に引き続き3年生を対象に行われた授業風景をご紹介します。



ロボット・プログラミング授業とは、まず各自で車型のロボットを組み立て、コンピュータで専用ソフトを使ってさまざまな動きをプログラミングし、それぞれオリジナルのプログラムを車型ロボットに送りこんで走らせるというものです。生徒達は実際に走行させてみて、自分が組んだプログラムによってどんな動きをするのかを何度も確認しつつ、少しずつ改良を重ねていました。



この日までに既に5回の授業を行っており、最終日となった今回は授業の最後に、数名の生徒によるデモンストレーションが行われました。2台の車が同じプログラミングにより同じタイミングで左右へ回転しながら大きな円を描いて動くワルツのようなプログラムなど、さまざまな動きのプログラムが披露されました。

日本電産は、今後も当社独自の教育支援を継続するとともに、NPO との連携による教育支援を推進し、未来をつくる子ども達にもものづくりの楽しさを伝えていきます。

2013 年度の授業風景は[こちら](#)でご紹介しています。